

一条通病院	旭川市東光1条1丁目	34-2111
旭川医院	旭川市神楽3条4丁目	61-1117
宗谷医院	稚内市末広3丁目 (稚)	24-1117
ながやま医院	旭川市永山5条11丁目	46-2211
一条クリニック	旭川市東光1条1丁目	34-1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽3条4丁目	63-1165
東光ぬくもりポート	旭川市東光1条1丁目	34-2917
宗谷さわやかポート	稚内市末広3丁目 (稚)	24-2223
旭川きた介護センター	旭川市大町2条14丁目	53-2111

# 道北の医療

発行所  
社会医療法人  
道北勤労者医療協会  
〒078-8341 旭川市東光1条1丁目  
TEL 0166-33-1117  
FAX 0166-32-6925  
発行者 橋本浩徳



押切謙一医師

道北の医療6月号では2023年3月に島根大学を卒業し、医師としての第一歩を道北勤医協でスタートさせた押切謙一医師を特集します。

一度は社会人としての道歩んだ押切医師が医学の道をめざしたのはなぜか、さらに民医連との出会い、初期研修を民医連に決めた理由などについて語ってもらいました。



ボランティア活動開始前にお世話になったホストファミリーとの写真。  
写真中央のホストファミリーとの対話は精神科医を志す大きなきっかけとなりました。

日本語も教えてほしい！  
と言われ、子どもたちや先生に日本語のレクチャー中。



「お金の有る無しで命が差別されてはいけない」「民医連の理念は自身の信念に近い」

押切謙一  
医師

## 研修医ただいま奮闘中!

一方、日本では当時自殺者数が年間3万人前後で推移し社会問題になっていました。「自殺者を減らしたい」そのヒントがカメルーンにあるのではと考えました。人が死を迎える瞬間、「悪くない人生だったな」と思える

一方、日本では当時自殺者数が年間3万人前後で推移し社会問題になっていました。「自殺者を減らしたい」そのヒントがカメルーンにあるのではと考えました。人が死を迎える瞬間、「悪くない人生だったな」と思える

押切医師は高校まで札幌で過ごし、東京の大学に進みました。学部は経済学部。在学中にリーマンショックが起こり、世界経済が大混乱する中、新自由主義経済に疑問を持つようになり、余波を受けながらもなんとか都内のIT企業に就職、もともと途上国での国際協力活動に興味があった押切医師は二年ほどで会社を退職し、アフリカのカメルーンでパソコンインストラクターとして活動しました。

**医師になろうと決意したきっかけは**

さらには民医連の理念は自身の信念に近いとも。途上国での経験から「カネの有無で命が差別されていいわけがない。そして医療と政治は決して無関係ではいられない」と感じています。「民医連は自身が声を上げたい時、一緒に声をあげてくれる存在だと思った」と

さらには民医連の理念は自身の信念に近いとも。途上国での経験から「カネの有無で命が差別されていいわけがない。そして医療と政治は決して無関係ではいられない」と感じています。「民医連は自身が声を上げたい時、一緒に声をあげてくれる存在だと思った」と

**民医連で研修をスタートさせる理由**



指導医の田中副院長とのツーショット

にはどのようなコミュニケーションが必要なのか、そんな観点から終末期の心のケアにも興味を持ち、精神科医をめざすきっかけとなりました。



工藤広稚内市長と懇談風景

さらに押切医師はそこに希望を感じたと言います。「今後、この地域との私なりの関わりを模索していきたいと思っています」と静かに語ってくれました。

「昨年、宗谷に2回、訪問させて頂きました。現地での交流を通して宗谷では本当に医療者を求めているのだと強く感じました」と話してくれました。そして「宗谷の医療が課題を抱えているからこそ、思想信条を乗り越え、様々な価値観を持つ人たちが医療課題を解決するために同じ方向を向いているのはとても驚き、衝撃的でした」と振り返ります。

**宗谷での経験を振り返って**

LGBTとは性的マイノリティ(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル等)を表す言葉▼先日、「LGBTと医療」について学んできた2人の若い職員取材した。2人はLGBTの人々が日本の社会で感じている差別や偏見、生きづらさが何処から来ているのか、そのために何をすべきなのか話してくれた▼さらに性的マイノリティの人が安心して受診できる病院を増やすことなど、地域全体として取り組むべき課題がある▼日本は衆参両院における女性比率が先進国の中では最低レベル。国際的な指標でも日本女性の社会的地位の低さ、男女賃金格差、性暴力やセクハラなど人権意識の脆弱さが際立っている▼日本は古くから家長制度を理想とする勢力が国の政治を動かしてきた現実がある。「性差」についても社会の意識とのギャップは大きい。その人らしさ、尊厳を守るために政治がブレキになってはならない▼人権意識を高め合う努力をしよう。一人一人の小さな行動が「差別と偏見」を超える力となる▼民医連の掲げる理念は無差別平等の医療と介護の実現。わたしたちはいかなる「差別」も許さない。(廣)





薬剤科研修

頼もしい医師

宗谷友の会  
会長 飯田 光さん

「沢山の苦勞をして、医師を目指すことを決意した。面白い人」というのが私の率直な印象でした。昨年は初期研修医の渡邊由桂先生と宗谷医院に実習に来てくれました。稚内市長を表敬訪問した際は、「自分が稚内の医師だとして何ができるのか」という視点で地域医療の改善について語ってくれました。それ以来、私にとって押切先生は「面白い人」から「地域の医療関係者の努力や、地域住民の医療に対する願いや悩みをしっかり受け止めてくれる頼もしい医師になる人」に変わりました。住民に寄り添った精神科医になりたいと言う押切先生。その夢を果たして下さい。そして先生との再会を楽しみにしています。

(1面からのつづき)



施設での訪問診療のようす

超高齢化社会、地域の高齢化とどう向き合うか

「昨年度から後期高齢者窓口負担が1割から2割に変わり、高齢者が目の敵にされています。特に、若者と高齢者の対立構造を作るのは良くない」と話します。

「この国にはまだまだ人権概念が根付いていないと感じています。いまの日本は効率重視で弱い立場の人と共生するという価値観が希薄になってきているのではないのでしょうか。経済効率ばかり重視する意識が変わらない限り、この問題は解決していかないのでは」と話し、その上で「自分らしく生き生きとした暮らしを実現していけるように、わたしたち医療者がサポートしていけることが大切です」と語ります。

さらに「地道な草の根活動である友の会の活動

は、地域の健康や平和、暮らしを充実させる活動に繋がると感じています」と暖かいエールをいただきました。

Q&A 押切先生に聞いてみました

Q1 今ではどんな研修をしていますか？

A 病棟の新規入院や訪問診療を学んでいます。また看護師体験では看護師さんが行う手技を体験しています。また、各セクションの業務について理解を深めています。

Q2 研修で楽しいと思う瞬間はいつですか？

A 勉強したことが実際の診療に直結したり、手技が出来るようになった時です。

Q3 研修でしんどいと思う瞬間はいつですか？

A システムに慣れていなくて、指示の出し方等が分からない時がしんどいです。

Q4 休日は何をしていますか？

A 自転車をこいで、勉強して、お酒をのみます。

Q5 どんな医師になりたいですか？

「医師になるのはいいけれど、指示の出し方等が分からない時がしんどいです。」



医局での1コマ

A 地域の背景を知ったうえで、患者さんの抱えている困りごとを見据えて対応できる医師を目指しています。

相手の身になって考えてくれる先生

病棟では明るくハキハキしてスタッフにも優しく、わからないこと等があれば率直に聞いてくれるなどスタッフとの信頼関係も良好です。

先日、看護師体験を行ったときも様々な課題を医師の目線で考えてくれるなど、とにかく一生懸命な先生です。

道北での研修が実りあるものになるようスタッフ全員で応援します。よろしくお願いたします。

一条通病院 3病棟  
師長 長田 初音



「応援しています」と語る長田師長



リハビリ部研修

押切先生からのメッセージ

「父が東川町出身です。小さいころよく訪れていたからか、このあたりは札幌以上に安心を感じます。この地域で医師としての生活をはじめられて嬉しく思っています。今後、友の会や地域のみなさんと交流させてもらえることを楽しみにしています」

「病気のことでだけでなく、暮らしの中で困りの事も聞かせてもらえたらと思っています。地域のみなさんに育てていただければ嬉しいです。どうぞよろしくお願いたします」と笑顔で結ばれました。

# 地域でいま何が起きているのか！

東光地域包括支援センター センター長 五十嵐 巨森



シリーズ③

一人で抱え込まないで！

新型コロナウイルスの感染拡大が地域で広がる中、一番影響を受けたのが高齢者の人たちです。それまでできていた友人同士の交流やサークル活動、子どもたちとの見守り等、地域との交流が制限されたことにより、行き場を失い、自宅にこもり、精神的に厳しい状態に追い込まれる高齢者が急増しました。さらにコロナの影響で家族との交流が減り、久しぶりに会うといままで出来ていた日常生活動作が出来なくなっている、家族が心配して相談に来るなど、認知症の発見が遅れる事例も増えています。

一方、もともと精神疾患を持つている方も症状が不安定になり、私たちがいるところに相談に来られるケースが増えました。社会との繋がりが薄くなっていることが主な要因と考えています。大切なのは日々の暮らしの中で人との繋がりを意識すること。それが心の安定を維持する秘訣だと思います。

ある事例ではダンス教室を経営されていた60代男性がコロナの影響で3ヶ月間、事業をストップしました。その間に、男性は体調を崩し、心配した生徒さんたちが私たちがの所に相談に来られ、医療機関の受診を勧めました。男性は一人でも亡くなられました。このような事例は他にも、たくさん存在します。地域包括支援センターには体力的に自信が無く

なって相談に来られるケースや、ご自身の将来のことが心配で相談に来られるケースも急増しています。一人で悩まずに私たちに相談してください。孤立させない、話せる場がある。

高齢者医療では今後、病院から在宅への流れが加速していきます。旭川市のケアマネジメントも高齢者の自立支援への機能強化が進められています。しかし、現状は市内の訪問診療に対応できる医療機関が不足しています。現在、旭川市の高齢化率は35%（R5・5現）です。全国的にみても高い数値です。地域では独居高齢者も増えています。将来の介護予防、認知症予防の為に地域包括支援センターを積極的に利用してほしいと思っています。大切なのは孤立させない、話せる場がある、ストレスを発散させる場があることです。自分達だけで如何にかしようとしても孤立してしまいがちです。いま、東光地域包括では介護認定される前の支援にも力を入れたと考えています。高齢者が元気に活躍できる場の提供などを検討しています。そこから元気な高齢者を増やしていければと考えています。

# お知り合いの 看護師さん 介護福祉士さんをご紹介下さい!



私たちは民医連の理念である、いつでも、どこでも、だれもが安心できる無差別平等の医療・介護の灯を絶やすことなく歩みを進めています。  
ご家族、お知り合いで私たちとともに、無差別平等の医療と介護事業を実践していただける看護師、介護福祉士の方々をご紹介いただきますようお願い申し上げます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

## 急募！介護福祉士

(正職員) ※パートでの時間も相談に応じます

- 資格：介護福祉士
  - 勤務場所：一条通病院・老健施設など当協会の事業所
  - 勤務：【日勤】8:45～17:00(公休制)  
【夜勤】早出・遅出(2交代のシフト制)
  - 給与：当協会規定に準ずる(定期昇給 年1回)、(賞与年3回)
  - 待遇：各社会保険完備、交通費規定支給、夜勤手当、住宅手当、家族手当、越冬手当、有休、リフレッシュ休暇、共済等あり
  - 面接：随時
- ※詳しいお問い合わせについては下記にご連絡ください。  
担当：道北勤医協 介護事業部 (担当：三瓶)  
電話：0166-53-2111



## 急募！看護職員募集

(正職員)

- 募集資格：正看護師
  - 業務内容：病棟(2交代・3交代)・訪問看護ステーション
  - 勤務場所：一条通病院を含む当協会の事業所
  - 給与：当協会規定に準ずる(定期昇給 年1回)(賞与年3回)
  - 諸手当：準夜・深夜手当 2交代夜勤手当
  - 待遇：各社会保険完備、交通費規定支給、住宅手当、家族手当、越冬手当、病棟看護師手当、勤続加算、有休、リフレッシュ休暇、共済制度あり
  - 面接：随時
- ※詳しいお問い合わせについては下記にご連絡ください。  
担当：道北勤医協 看護部 (担当：八重樫)  
電話：0166-33-1117



左から青木梨亜さん、馬場千遥さん

一条通病院栄養科に勤務する馬場千遥さん、青木梨亜さんは医療従事者を対象にした「LGBT

シリーズ④

## 「わたしと憲法」

LGBTQを学んで

Qと医療」について学んできました。これまで2人は仕事をしながらLGBT当事者の方と接する機会がなく、言葉は知っていても自身に関係はしないと思っていました。しかし、今回の学びで自分達の周囲には沢山のLGBT当事者の方がいることを知り驚きました。講師の方からは「いいだけ」ではなく、見えないうえ、今回の学びの重要

また、様々な理由で戸籍を変える時にもハードルが高く困難を伴うことも知り、憲法で保障されている「基本的権利」が日常生活で生かされていないのか疑問を感じたそうです。学生時代、授業で「憲

一条通病院栄養科  
管理栄養士 馬場千遥  
管理栄養士 青木梨亜

性を認識したと話します。さらにLGBT当事者の方がDVを受けた時、被害者になれない(現行法に当てはまらない)ことに再び驚きました。「法律で守られるようにしてほしい!」と力を込めます。

法は国民を守るルール」と学びました。しかし、その憲法の理念を自分達の都合に合わせて変えようとする勢力があることも知りました。2人はこの学びをきっかけに世の中には様々な人種や価値観が存在し、それが尊重されなければならぬこと、否定されない安心感、自分らしく生きていこう!という価値観を大切に「これからも患者さんに向き合っていきたいです」と笑顔で話してくれました。

## 相談室の窓

介護施設を選ぶ手段が多様化しています。入居予定者が入院中の場合は病院の医療ソーシャルワーカーに相談する、在宅の場合は居宅介護支援事業所等のケアマネジャーに相談するのが最適な方法です。入居する方の心身の状態をよく知っているからです。

## 介護施設の探し方

ところが介護を機に遠方で暮らす家族の家から近い介護施設に移り住む場合は、さらに家族が住む地域の介護施設の事情に詳しい方に相談することをおすすめします。最寄りの地域包括支援セン

支援1(要介護5)経済状況により、ある程度、入居対象の施設が絞られるので、相談員にこれらの情報を正確に伝えていくことが大切です。そのうえで、選ぶ施設を三ヶ所程にして効率よく見学

するのがよいでしょう。一方、紹介会社を紹介する場合は、紹介会社と提携していない介護施設は提案されない可能性があるという盲点があります。探す手間が省ける、効率的に探すことができ

老人保健施設  
かたくりの郷  
社会福祉士 野村昭典

施設の増加等の影響で待つことなく入れられるように変わってきました。とはいえ、要介護認定の区分、医療処置やリハビリの必要性、年金では入所費を賄えない等で入れない場合がありますので、直に介護施設に問い合わせるのがよいでしょう。施設を探す行動でよりよい道が開かれるはずです。



あなただけの健康をつなぐ医療誌

# いつでも元気

MINIREN

2023年6月号 380円 好評発売中

民医連70年 希望を創る

ほんごう教室 新型コロナ 何が変わる？

きらきら発電 宮城

レッツ脳トレ

まごのチカラ 広島県安芸太田町

食と健康 菌の健康と食生活

発行一徳出版株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 早稲と労働センター1階 電話 03/5842/5656 FAX 03/5842/5657



## まちづくり交流館は 桜で満開!

まちづくり交流館の園庭には3本の桜が植えられています。3本は順番に開花し、わたしたち職員や訪れる友の会員さん、近くの保育園の子どもたちの目を楽しませてくれています。

サクランボが実を付けます。真っ赤なサクランボの味はジューシーでとても甘く、止まらない美味しさです。そしてこのサクランボは子ども食堂に来てくれる子どもたちをはじめ、友の会員さんに食べていただいています。

お近くを通りがかった際には、サクランボを味見していきませんか。職員に一声かけていただければ大丈夫です。サクランボを食べにまちづくり交流館においでください。お待ちしています!

### 友の会無料法律相談のお知らせ

6月20日(火)、午後2時から「あかつき法律事務所」の畑地雅之弁護士がご相談をお受けします。

※予約制です。前日までにご予約ください。

連絡先 33-0854(友の会連合会)



### 弱い者いじめばかり

旭川市 小畑勝彦さん

光熱費、諸物価高で国民が苦しんでいるのに軍事予算は大幅アップ。予算予備費の乱用などいままの政府は弱い者いじめばかりです。

### 困っている人に

旭川市 西田智信さん

米寿になってもうれしい事は何もない。医療費

の高騰に見合う年金であってほしい。戦争に使うお金を困っている人に使ってほしい。

### とても参考になりました

旭川市 林紀美子さん

「胃カメラについて」が大変参考になりました。次回は受け方のコツをしっかりと心がけて検査を受けるようにします。

### 胃カメラ受けます

旭川市 佐藤光子さん

病院嫌いの私でしたが、胃カメラの記事を読み、早期発見、ピロリ菌検査が大事と感じました。検査を受ける予定です。

### 大変な世の中

旭川市 工藤光吉さん

オール電化ですが、電気代の暴騰のため夜間割安電気蓄熱暖房を止めました。節約のために電気を使わない滞留式の縦長ストーブで寒さを凌ぎました。大変な世の中です。

### 楽しみがいっぱい!

旭川市 池田悦子さん

散歩、リュックを背負ったの買い物、電話でのおしゃべりを楽しみ、暮らしています。

### 我が家の庭は...

旭川市 金子美子さん

我が家の庭には福寿草(クロッカス)そしてこれから水仙が咲きそうです。



旭川市 高橋喜美子さん

2002年、幌延友の会設立当時は、会員さんも多かったのですが5人でニュースを配布していましたが、10年ほど前から会員さんも減ってしまい現在は、私、川森市子ひとりです。30件ほどですが配布しています。(写真右よ

り2人目) 手伝って下さる人もおられると思いますが、小さい街を車で周るため、わりと短時間で終わってしまいます。「いつでも元気」も同じです。「幌延友の会」は、設

立以来毎年、総会を開催し、その際には宗谷医院から先生、看護師さん、事務のみなさん、検査技師の方などたくさんの職員が駆けつけてくれました。総会では医療・介護、社会情勢の学習会を開催し、終了後、手

り上がり、楽しかった思い出が忘れられません。現在はコロナ禍で、行事はできませんが2年毎の総会の年は「総会の資料とプレゼント」を配布しています。今年は総会の年ではありませんが、ニュースと一緒にプリゼントをお渡しできたらと考えています。写真は5人に声をかけ「今年こそフリマ、やりたいね」と保存してある品物を整理している楽しいひと時のコマです。これからも幌延友の会は会員さんとともに地域の暮らしと健康を守る取り組みを進めていきますのでよろしくお願ひします。



そして、宗谷病院の「健康まつり」には、フリーマーケットとコーヒーで出店し、大変、盛

いご馳走を囲み、参加者全員で楽しく交流したことが懐かしく思い出されます。

- ### タテのかぎ?
- ①○○と人情の板挟み。
  - ②ラスト○○。
  - ③キク科の花で、花言葉は「崇高美」「神秘」。
  - ④○○○バンド。
  - ⑦カヌーを漕ぐオール。
  - ⑧ハーブのひとつ。イタリア料理に欠かせない。
  - ⑩髪○○。○○納。
- ### 応募方法
- 2重マスの字を組み合わせて、ある言葉(ヒント参照)を作ってください。ご応募はハガキ、各院所にある「応募用紙」、Eメールで答、氏名、郵便番号、住所を記入してお送り下さい。抽選で20人の方に図書カードをお

- ### ヨコのかぎ?
- ①入れ歯。
  - ③天○○孤独。
  - ④日本では特にペットや競走馬の繁殖家を指す場合が多い。
  - ⑤別名は織姫星です。
  - ⑥温泉を利用した美容、健康のための保養施設。
  - ⑧○○色の人生。
  - ⑨日本の妖怪のひとり。酒呑○○。
  - ⑩酒飲みのお腹。
  - ⑫日本海に面する北海道北西部の地名。

### ◆締め切りは6月末日。あて先

〒078-8341 旭川市東光1条1丁目4番20号 道北勤医協本部 地域健康部 (Eメールアドレス) tomonokai@dohoku-kinikyoo.or.jp

4月号の答は花まつり(ハナマツリ) 応募総数は116通(ハガキ68通・メール47通・応募用紙1通)

### ◆当選者

20人(敬称略)

太田静枝、大西志津子、加藤雅子、金田正光、川口幸和、工藤和枝、田中久恵、寺島洋子、中田麻利子、羽澤民子、藤井たつ子(以上旭川市) 木村幸子、進藤孝昭、鈴木加代子、武田富代、宮本明日香、平賀舞子(以上稚内市) 岩西英子(天塩町) 船木イネ(猿払村) 山崎文雄(札幌市)

### クロスワードパズル4月号解答

エ	マ	モ	ジ
ヘ	ク	ジ	ヨ
イ	ツ	シ	リ
ワ	タ	コ	ウ
	ハ	ケ	ナ
コ	ク	ミ	ン

### クロスワードパズル410

	①	②		③	
④					
				⑤	
⑥	⑦		⑧		
					⑩
				⑪	
					⑫

ヒント 6月の花嫁さんは幸せになります。